



令和5年
6月

学校だより

NO.3 令和5年6月1日
さいたま市立美園北小学校
TEL 048(812)2277
<https://misonokita-e.saitama-city.ed.jp/>

プロセス

校長 佐藤 利春

涙が・・・

5月26日(金)体育学習発表会に向けた各学年最後の練習を見ました。子どもたちが、職員が、想いをこめて創り、練習をしてきました。このプロセスを見てきましたので、豊かな子どもたちの表情に心が揺れました。涙が一筋流れていることに気が付きました。日々しあわせをいただける仕事でとてもありがたいです。

しあわせのおすそわけ

体育学習発表会をご覧いただけた保護者・地域の皆様から、子どもたちの姿についてお褒めの言葉を多くいただきました。しかし、当日子どもたちがお見せした姿は、“一端”です。そのプロセスがとても充実していたのであの姿がありました。6年生と5年生が書いた振り返りを担任にもらいましたので、これを通してプロセスをお伝えし、しあわせのおすそわけをします。各学年すばらしかったです。代表して6年生を話題とします。(おすそわけしたい量が多く、文字が小さくなりますことお許してください。)

演技について

- クイックピラミッドでは、ちゃんと上げることができたので良かったです。3年生が見ていて「すごい！」と言ってくれたのでうれしかったです。
- 足上げブリッジが一発でできてすごく感動しています。初めてできて、すんごくうれいんです。3人技も完璧にできた、母にも父にも褒めてもらえてうれしかったです。
- クイックピラミッドを動画で見て、とてもきれいだったのでうれしかったし、自分でも「おお～！」と言ってしまいました。全部の技が成功したのは、みんなのおかげだと思し、自分も100%以上の力が出せ、めあても達成できて、最高の体育学習発表会になってよかったです！！
- ペアの子や、グループの子たちと休み時間毎日練習することができました。練習を積み重ねていくうちにうまくなっていきました。友達もアドバイスをくれたのでそのポイントを意識して取り組みました。
- 組体操で、私は上に上ることが多かったので、あまりいたくなかったけど、下の人は手や足が地面につくし、人の体重がかかっているのに、文句を言わずに頑張っていたのが、とてもすごいなと思いました。家でも倒立の練習を親に手伝ってもらいました。小学校最後の体育学習発表会で、親にも感動させるいい演技ができたかなと思います。
- タワーがずっとできなくて、当日も先生の補助か…と思っていたのですが、3人の心が一つになって、本番の2日前ぐらいから安定するようになってきました。やっぱり、「練習・努力は裏切らない！」と思いました。組体操は、いろいろな友だちと協力しながらできたことも最高でした！！小学校最後の体育学習発表会・・・大成功！！
- はじめて組体操でやる技を見たときは、「本当にこの技が運動会までに行けるようになるのか？」と心配でした。でもそこであきらめてしまっは終わりだと思ったので、2人組のペアと、毎日体育館に行行って練習をしていました。コツコツ練習をしていたらできるようになりました。それから、「どのようにしたら美しく見せることができるのか。どのようにしたら見ている人を感動させることができるのか。」を、ペアの友だちと考えながら練習しました。本番では、友だちと協力し、すべての技を成功させることができました。今まで頑張ってきたかいがあったと、とてもうれしく思いました。小学校最後の体育学習発表会で、「一人だけではできないことはたくさんある。」ということ改めて知ることができました。
- はじめは恥ずかしく感じた1年生の時のダンスも、笑顔で堂々と踊ることができ、組体操では、仲間と協力ができたと思いました。本番では、親を感動させることができたし、先生たちも感動させることができたから、とてもやりがいを感じました。「やりがいを感じる」というのも、ぼくの成長したところだと思います。これらを踏まえ、中学・高校に生かしていけるといいと思いました。

係

- 運動会アナウンスという大イベントをやることとなり、ドキドキしました。たくさんの保護者にちゃんと聞こえるように放送することができたので、成功したんじゃないかと思います。
- 応援団の団長をやらせてもらったけど、声がかすれなかったことが、すごく悔しいです。かすれなかったということは、もっと出せたということなので、もう1回体育学習発表会をやり直したいと思っています。でも、私たちの応援で頑張れた人が1人でもいたのならうれしいです！！
- 1年生の時は、ゴールテープをタイミングよく離すことができたので転ぶ子が1人もいなくてよかったです。仕事をしっかりとやり遂げることができたので良かったです。
- 私は、ゴールで走り終わった子を並ばせるのが仕事でした。走り終わった子に「がんばったね」や「すごいね」などの声をかけると喜んでくれたので良かったです。
- 応援団でした。この暑い中で、1度も休まずにやれたことが自分でもすごいと思いました！！

5年生から見た6年生

- 自分の学年でもないのにみんなを応援したりしていてすごかった。自分も今の6年生みたいに、みんなの役に立てる6年生になりたい。
 - 今年やってくれた6年生のように、来年は自分たちが色々なことをやり、下の子たちに「自分も6年生になったらいろいろなことをやりたい！」と、思ってもらえるようにしようと思いました。
- 練習も、当日もとびっきりの笑顔で演技をしていました。その6年生が当日下校するときには、ほぼすべての子が疲れ切った顔をして正門を出ていきました。演技だけでなく、係の仕事も全力を出し切ったのです。その姿を見た後輩が来年への想いを受け継ぎました。「いかに日々のプロセスを充実させていくか。しかも、子どもたちのアイディアと想いをもとにしながら。」子どもたち一人ひとりの内側から湧き出る、本物の充実・成長を実現するため、職員一同これからも努力してまいります。6月もどうぞよろしくお願い致します。